

2016年5月13日

会員の皆様

関西菌類談話会担当者

第559回例会 ワークショップ

『旧腹菌類の観察法』

腹菌類は、近年の分子系統学的研究により多系統群であることがわかり、分類学上の単位としては消滅しましたが、その特徴的な外見から一つのグループとして理解しやすく、野外でも容易に認識できる菌群です。しかし、属レベル・種レベルの同定には顕微鏡的特徴の観察が不可欠で、独学による観察・同定法の修得は困難です。このワークショップでは、腹菌類の分類や生態に関する基礎的な事項を学ぶだけでなく、同定に必要な顕微鏡観察法の習得を目指します。講師は旧腹菌類を長年研究されてきた千葉科学大学危機管理学部環境危機管理学科の糟谷大河先生です。

記

日時：2016年6月26日（土）10時～15時（終了時刻は多少前後します）

会場：大阪市立自然史博物館（南側事務室入り口より入館してください。）

交通：大阪市営地下鉄御堂筋線『長居（ながい）駅』下車 徒歩15分

持ち物：筆記用具、図鑑類、ルーペ、弁当など

講師：糟谷大河氏（千葉科学大学危機管理学部環境危機管理学科）

講座の内容：ホコリタケやスッポンタケの仲間など、「腹菌類」と総称されるきのこ類の分類や観察の仕方について学びます。さらに代表的な腹菌類の担子胞子や菌糸などの顕微鏡観察を行います。

参加費：500円、会費は当日に徴収します。

定員：30名（顕微鏡観察の経験のある方）

その他：本ワークショップは、日本菌学会、幼菌の会、大阪市立自然史博物館との共催です。標本の観察に生物顕微鏡を使用します。光学顕微鏡の取り扱いに不慣れな場合は参加申込時にお申し出ください。

申し込み先：以下へ電子メールあるいは郵送でお申し込みください。（できる限り電子メールでお願いします）〒651-2226 神戸市西区桜が丘中町2-2-1 名部みち代

電子メール：forest@phoenix-foundation.jp メールの件名を「ワークショップ申込み」としてください。

申込締切日：当初の5月10日を5月末日まで延長します（6月初旬に抽選の結果をメールで連絡させていただきます。郵送の方は多少遅れます。）

申込用紙（ワークショップ『旧腹菌類の観察法』）

氏名（ふりがな）

郵便番号

住所（楷書で丁寧に）

メールアドレス

電話番号（郵送で申し込みの方のみ）